

Unit 4 日本大好き (4時間)

本単元における小学校英語活動を生かした指導

本単元の言語材料である What は、小学校英語活動の様々な場面で頻繁に使われている表現である。特に What's this? という表現は生徒にとって慣れ親しまれた表現であり、生徒は言語の働きも理解しやすいと思われる。ただ、音声で触れてきた生徒は、What's this? をかたまりで理解しているため、What is this? の短縮形として理解しているかは疑問である。そこで、音声による復習を十分行った後、文構造を説明し、疑問詞を用いた疑問文であることを理解できるようにしたい。文構造を理解することで、What do you ~? の形もかたまりとしてだけでなく、応用の利く表現として定着していくと考える。また、本題材の教科や朝食という内容に関する活動において、小学校英語活動で使用された教科名や食べ物の名前などを活用し、自信をもって自己表現させていきたい。話すことにおいて自己表現するだけでなく、書くことにおいても、慣れ親しんでいる言語材料を文字に表すことにより自己表現することで、意欲をもって取り組めるようにしたい。

1 目標

- ・ ある物を見て、それが何であるかを尋ねたり、答えたりすることができる。
- ・ What is ~? の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 好きな教科について相手に尋ねたり、答えたりすることができる。
- ・ be 動詞の形容詞補語の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ be 動詞の文の否定文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ 毎日の朝食について相手に尋ねたり、答えたりすることができる。
- ・ How about you? の用いられる場面を理解し、使うことができる。
- ・ What do you ~? の文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。

2 評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) 相手のことをより知ろうと積極的に質問している。 (コミュニケーションの継続) 相づちをうったり、聞き取りにくかった時聞き返そうとしたりしている。		(正確な聞き取り) 疑問詞を伴わない疑問文と What を伴った疑問文を正しく聞き分けることができる。 (適切な聞き取り) 相手の問いかけに適切に応じることができる。	(言語についての知識) What is ~? What do you ~? の文の意味・構造を理解している。 (文化についての理解) 日本と外国の朝食のメニューの違いを理解している。
話すこと	(言語活動への取組) 相手の質問に答えながら、自分のことを積極的に伝えようとしている。 (コミュニケーションの継続) How about you? などを用いて会話を発展することができる。	(正確な発話) What を伴う疑問文と応答文を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。 (適切な発話) 疑問詞を伴う疑問文と伴わない疑問文を適切に使い分けことができる。		(言語についての知識) rabbit, rice など、日英の発音の違いについての知識を身に付けている。 (文化についての理解) Really? That's right. などの相づちの表現を理解している。
読むこと	(言語活動への取組) 日本に関係のある内容に関心をもっている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても推測して読み続ける。	(正確な音読) 短縮形の発音や Really? など正しく音読できる。 (適切な音読) 適切な音量で読むことができる。	(正確な読み取り) マイクとジュディとの会話を正しく読み取ることができる。 (適切な読み取り) 折り紙の形、教科、朝食などの大切な部分を読み取ることができる。	(言語についての知識) What is ~? と What do you ~? の文の構造を理解している。 (文化についての理解) Me, too. や How about you? など日常生活に根付いている言葉を理解している。

<p>つ。</p> <p>8 Yummy-Yummy-Yummy を歌う。 形容詞補語の形を理解し、Part2 の内容を聞き取る。</p> <p>9 教科名の単語を復習する。</p> <p>10 教師の会話を聞き、形容詞補語の形を理解する。</p> <p>11 教師の質問に Yes, No とともにその理由も加えて答える。</p> <p>12 Part2 の内容を聞き取り、T or F で内容を確認する。</p> <p>13 Part2 の新出単語を練習する。</p> <p>14 本文の音読練習をする。</p> <p>15 Q and A で内容を確認する。</p> <p>形容詞補語を用いて好きな理由を答えることができる。</p> <p>16 好きな ~ の調査をし、好きな理由も尋ねる。</p> <p>17 質問の結果を英文にまとめる。</p> <p>18 友達の調査結果の英文を読む。</p>	<p>複数形を思い出せるように、s に注意して歌うよう促す。</p> <p>小学校英語活動で用いられた教科名を思い出せるように、時間表を使って復習する。</p> <p>会話の内容が理解できるように、小学校英語活動で触れている表現を使い形容詞補語の導入をする。</p> <p>Do you like ~? を用いた教科についての質問に好きな理由や嫌いな理由を答えることで、形容詞の使い方を理解できるようにする。</p> <p>補語として使われやすい形容詞のプリントを活用するよう伝える。</p> <p>マイクとジュディはどんな教科に興味があるのかをとらえられるようにする。</p> <p>会話のあらすじがとらえられているか確認する。</p> <p>音と文字を結び付けるために、フォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>繰り返し練習ができるように Read and Look up など様々な読み方を行うようにする。</p> <p>活動に取り組みやすくするために Q and A の答えはキーワードを英語で記入するよう工夫する。</p> <p>繰り返し表現を使うことができるように What's your favorite ~? の形を使いクラス全員にインタビューし、どうして好きなのかもメモするよう伝える。</p> <p>ワークシートに好きな ~ ランキングを書き、理由を英文で付け加えることで表現の定着を図る。</p> <p>机間指導し、表現のアドバイスをする。</p> <p>クラスの好みの傾向をつかみ、相手のことに興味をもてるよう促す。</p>	<p>アイウエ</p> <p>ア イ ウ エ</p>	<p>ジュディとマイクの会話を理解し、正しく音読している。</p> <p>A 会話の内容を正しく理解し、正しいイントネーションや音変化を用いて音読している。</p> <p>B 会話の概要を理解し、モデルに近付こうと読んでいる。 (観察、ワークシート)</p> <p>What の疑問文で質問し、形容詞補語の形を使い答えることができる。</p> <p>A 会話を行い、質問の結果をまとめることができる。</p> <p>B What や形容詞補語を使い会話することができる。 (観察、ワークシート)</p>
<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>19 Yummy-Yummy-Yummy を歌う。</p> <p>What do you ~? の文と答え方を知り、Part3 の内容を理解する。</p> <p>20 食べ物や料理の言い方を復習する。</p>	<p>本文の for の使い方を推測できるように、What's for breakfast? の for 食事の形に注意して歌うようにする。</p> <p>様々な表現を使うことができるように、小学校英語活動で用いられた単語を利用し、ピクチャーカードを</p>		

3	<p>21 教師の質問に答えながら、What's~?と What do you~?の形の違いをとらえる。</p> <p>22 Part3 を聞き、内容をつかみ、T or F で概要を確認する。</p> <p>23 Part3 の新出単語を練習する。</p> <p>24 本文の音読練習をする。</p> <p>25 Q and A で内容を確認する。</p> <p>What do you ~?を用いて質問したり、答えたりできる。</p> <p>26 3食、自分と同じメニューが好きな友達を見つける ゲーム をする。</p>	<p>示しながら練習するようにする。</p> <p>What's your favorite food?と What food do you like?を使い、同じ意味であるが言い方が違うことに気付けるように文の構造を説明する。</p> <p>What do you ~?の形がどう使われているかに注意して聞き取るよう伝える。</p> <p>会話の概要をとらえられるようにする。</p> <p>音と文字を結び付けるためにフォニックスを取り入れた音声指導を行う。</p> <p>繰り返し練習ができるように、Read and Look up など様々な読み方を行うようにする。</p> <p>書くことの抵抗感を和らげるために Q and A の答えはキーワードを英語で記入するようにする。</p> <p>How about you?や相づちの表現も使えるように、本文を参考に会話をするように伝える。</p> <p>自分の好きな食事を英語でメモし What do you like for ~?の形で質問するように伝える。</p> <p>机間指導し、表現や発音についてアドバイスをする。</p>	<p>アイウエ</p> <p>アイウエ</p>	<p>ジュディとマイクの会話を理解し、正しく音読している。</p> <p>A 会話の内容を正しく理解し、正しいイントネーションや音変化を用いて音読している。</p> <p>B 会話の概要を理解し、モデルに近付こうと読んでいる。 (観察、ワークシート)</p> <p>友達の好みを聞くことができる。</p> <p>A 相づちをうちながら、自分と同じ好みの友達を積極的に捜そうとしている。</p> <p>B What do you~?を用いて質問や応答ができる。 (観察)</p>
4	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>27 Yummy-Yummy-Yummy を歌う。</p> <p>課全体の復習をし、話題を確認する。</p> <p>28 教科書のさし絵を見ながら本文の音読をする。</p> <p>日本文化や日本独特のものについて説明や紹介をすることができる。</p> <p>29 折り紙、習字、和食などを説明する文を書く。</p> <p>30 日本独特のものについて写真や実物などを用いながら紹介する。</p>	<p>歌詞を自分の好みの食べ物に換えることで、興味をもって歌えるようにする。</p> <p>暗唱できる生徒はさし絵のみで音読するよう促す。</p> <p>日本についての話題であることを確認するために、折り紙、習字、和食のさし絵を使用する。</p> <p>教科書の題材に限らず、自分が紹介したいものについて書いてよいことを伝える。</p> <p>例文プリントを活用できるようにする。</p> <p>書いた内容をうまく伝えるために、写真や実物などを示しながらグループで紹介し合うようにする。</p>	<p>アイウエ</p> <p>アイウエ</p>	<p>日本独特のものについて紹介文を書いたり、説明したりできる。</p> <p>A 既習表現を使って正しい表現で書き、丁寧に説明している。</p> <p>B 既習表現を使って書き、相手に分かるように説明している。 (ワークシート、発表)</p>

小学校英語活動を生かした指導に関わる 3 時間分

英語科学習指導案(Unit 4) 第 1 時 1/4

本時における小学校英語活動を生かした指導

生徒は、小学校英語活動において、具体物を見ながら、What's this?という表現を聞き、食べ物、動物、乗り物などの言葉を学んできている。そのため、What は生徒にとって大変慣れ親しまれた言葉であり、言語の働きは理解しやすいと思われる。しかし、生徒は What's this?という表現を、文字で表された文としてではなく、音声として理解しているため、What's this?を一つのかたまりとしてとらえている生徒もいると考えられる。What's this?の表現を、What's that?や What () is this?などと応用して使えるようにするため、What's は What is の短縮形であり、疑問詞を伴った疑問文であることを、文構造を示し説明したい。また、本時の話題の折り紙や、影絵などを用いて、活動しながら英語を使うことで、生徒は英語をコミュニケーションの手段として意識しながら活動することができると思う。

1 本時の目標

- ・ What is ~?の文の形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・ Part 1 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、折り紙、OHC

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 Yummy-Yummy-Yummyの歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、定着を図れるようにする。 ねらいとする言語材料に気付けるように、What's に注意して歌うよう促す。	
10	What is ~?の文と答え方を知り、Part1の内容を理解する。	折り紙の形を見て What's this?の質問に It's~.で答える。 What's this?の文の構造を理解する。	本文に興味をもてるように、小学校英語活動で親しんでいる動物などの形を作り質問するようにする。 dog, frog, horse, bird, flower など a と an の使い方を説明し理解できるようにする。 What's this?が What is this?の短縮形であることを理解できるように、疑問文の構造を説明する。	
15		さし絵を見ながら、Part1の内容を聞き取る。 T or F で内容の概要を確認する。 Part1 の新出単語を練習し、a の読み取りと書き取りの練習をする。 apple, thank, classroom, sad 本文の音読練習をする。	本文の会話が単なる質問と答えではなく、相づちの表現が使われていることに気付けるように、教科書は閉じるよう伝える。 会話の概要をとらえられるようにする。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするために、フラッシュカードを用いる。 rabbit, animal, that の a の発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 暗唱できるように Read and Look up などで練習するよう伝える。 文のアクセントに気を付けることができるように、ペアでジェスチャーをつけて練習するよう伝える。 Q and A の答えを英文で記入することで内容を確認できるようにする。	本文を理解し、イントネーションに気を付けて読んでいる。
20	What's this?を用いて質問したり、答えたりすることができる。	影絵や隠し絵を作り、グループでクイズを出しあう。 グループの代表が全員に問題を出す。	影絵や隠し絵は教科書を参考にして作るよう助言する。 生徒同士が対話できるように、分からないときは、質問しながらヒントを得るようにする。 対話が活発に行われるように、グループ対抗でクイズを行うようにする。	英語で質問しながらクイズに答えることができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

生徒は、小学校英語活動の中で What's your number? What's your name?という表現を繰り返し耳にしている。そのため What's your ~?をひとつのかたまりとしてとらえていると考えられる。そこで favorite という一語を加え、What's your favorite~?の形を学習することにより、生徒の表現の幅が広がることになると考える。形容詞補語の表現は、小学校英語活動で耳からたくさん聞いてきてはいるが、文法として整理されていないと思われるので、SVCの形を品詞で色分けするなどして視覚に訴え、日本語との違いを理解できるようにしたい。本時の話題である教科については、小学校英語活動でも取り上げられることが多いので、教科についての自分の感想を述べたり、教科だけでなく他のことについて尋ねたりと、英語活動を発展させた内容を取り入れ、生徒の意欲を高め、「読む」「書く」力も養っていききたい。

1 本時の目標

- ・ be 動詞の形容詞補語の文を理解し、表現できる。
- ・ Part 2 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート、時間割表

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 Yummy-Yummy-Yummyの歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、定着を図れるようにする。 複数形を思い出すために s に気を付けて歌うよう促す。	
10	形容詞補語の形を理解し、Part2の内容を聞き取る。	時間割表を見て、教科名の単語を復習する。 ~~~~~ Japanese, math, P.E., science, music, art など ~~~~~ 教師の会話を聞き、形容詞補語の形を理解する。 T1: Do you like Japanese? T2: Yes, I do. Japanese is interesting. T1: Do you like math? T2: No, I don't. I don't like math. It's difficult. T1: I like music. How about you? T2: Me, too. Music is fun. ~~~~~ 教師の質問に理由も加えて答える。	小学校英語活動で用いられた教科名から復習し、その他の教科についての語も導入し、ごいを増やすようにする。 ~~~~~ 内容が推測できるように小学校英語活動で触れてきた表現を使いながら形容詞補語を導入する。	
15		Part2の内容を聞き取る。 T or Fで内容の概要を確認する。 Part2の新出単語を練習し、yの読み取りと書き取りの練習をする。 ~~~~~ happy, boy, sorry, yellow ~~~~~ 本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	ねらいとする表現を使えるように Do you like~?で教科が好きな理由、嫌いな理由を答えるようにする。 ~~~~~ マイクとジュディの好きな教科が何であるかを聞き取るよう助言する。 会話の概要をとらえられるようにする。 意味とつづり、読み方を定着できるようにするために、フラッシュカードを用いる。 easy, study, veryのyの発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 暗唱できるように Read and Look upなどで繰り返し練習を行うようにする。 ペアで何度も練習するよう促す。 Q and Aの答えはキーワードの単語を記入することで内容を確認できるようにする。	本文を理解し、文の強勢に気を付けて読んでいる。
20	形容詞補語を用いて、好きな理由を答える。	What's your favorite~?を使って好きな~調査をする。 ~~~~~ S1: What's your favorite animal? S2: Cats. Cats are cute. ~~~~~ 質問の結果を英文にまとめる。 ~~~~~ Our favorite TV program is "Sazaesan". ~~~~~ It's very fun. We like Katsuo. ~~~~~ 友達の書いた調査結果の英文を読む。	好きな食べ物、テレビ番組、季節などをインタビューし、その理由もメモすることで表現の定着を図れるようにする。 ~~~~~ メモ書きを見て、多かった意見を英文でまとめるよう伝える。 ~~~~~ 調査結果を張り出し、全員の英文を読むようにする。	形容詞補語を使うことができる。

本時における小学校英語活動を生かした指導

本時の話題は朝食のメニューである。生徒は小学校英語活動において、食べ物クイズや料理ごっこでたくさんの食べ物に関する語に触れてきている。そのため質問に対して答える際に、英語で何というのかと考えることなく、スムーズに対話活動に取り組むことができると思われる。英語での言い方が分からないとどう答えていいのかが不安になり、活動にも学習にも消極的になってしまうが、答え方に自信をもっていると質問を落ち着いて、しっかりと聞くことができるので、What's~?とWhat do you~?の違いに集中して聞くことができ、疑問詞 What の後に be 動詞がくる場合と一般動詞がくる場合の2パターンがあることに気付くことができると考える。生徒の気付きから文法の説明をすることにより、知識を理論的に整理して生徒は身に付けていくことができると考える。また、「聞く」「話す」活動だけでなく、「書く」活動もバランスよく取り入れた指導をするために、聞いた内容を英語の単語でメモする活動を取り入れ、指導したい。

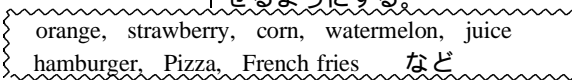
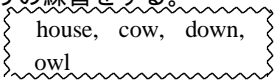
1 本時の目標

- ・ What do you ~?の文を理解し、表現できる。
- ・ Part 3 の内容を理解する。

2 準備

- ・ CD、ピクチャーカード、フラッシュカード、ワークシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつする。 Yummy-Yummy-Yummy の歌を歌う。	前時までの言語材料を使い質問することで、表現の定着を図れるようにする。 What's for breakfast?の for 食事 の表現をとらえられるようにする。	
10	What do you~?の文と答え方を知り、Part3 の内容を理解する。	食べ物や料理の言い方を復習する。  教師の質問に答えながら What's~?と What do you ~?の形の違いを理解する。	小学校英語活動で用いられた単語をピクチャーカードで示しながら復習し、思い出せるようにする。 2つの形を使って何度も質問し、音声として理解できるようにする。 be 動詞のある文、ない文として、文構造の違いを理解できるように説明する。	
15		Part3 の内容を聞き取る。 T or Fで内容の概要を確認する。 Part3 の新出単語を練習し、ou の読み取りと書き取りの練習をする。  本文の音読練習をする。 本文についての質問に答える。	マイクとジュディの朝食は何なのかを聞き取りのポイントとして示す。 会話の概要をとらえられるようにする。 意味とつづり、読み方を定着できるように、フラッシュカードを用いる。 about の ou の発音指導と書き取り練習を小学校英語活動で触れた単語を使いフォニックスで指導し、音と文字を結び付けられるようにする。 暗唱できるように Read and Look up などさまざまな方法で練習を行うようにする。 ペアで何度も練習するよう促す。 Q and Aの答えはキーワードの単語を記入することで内容を確認できるようにする。	本文を理解し、気持ちを込めて読んでいる。
20	What do you ~?を用いて質問したり、答えたりする。	朝食、昼食、夕食の自分の好みのメニューをメモする。 What do you like for~?を用いて質問し、自分と同じ好みの人を探す。	書く活動に取り組めるように I like () for ()の ()に単語を書き入れるようにする。 How about you?などの相づちの表現を使うよう促す。	同じ好みの人を探すための質問をすることができる。